

令和元年度進行管理・評価シート
長野市歴史的風致維持向上計画（平成25年4月11日認定）
（最終変更 平成31年3月29日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 長野市景観計画との連携	2
2 長野市屋外広告物条例との連携	3
3 長野市伝統環境保存条例との連携	4
4 長野市伝統的建造物群保存地区保存条例との連携	5
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 無形文化財支援事業	6
2 歴史的資源活用コーディネーター派遣事業	7
3 伝統芸能継承事業	8
4 空き家バンク事業	9
5 善光寺周辺地域道路美装化事業	10
6 善光寺周辺地域電線類地中化事業	11
7 善光寺表参道地域交流拠点整備事業	12
8 戸隠地域建造物修理修景助成事業	13
9 戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設・歩道整備事業	14
10 弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業	15
11 戸隠茅場整備事業	16
12 戸隠伝統的建造物群保存地区防災計画策定調査事業	17
13 城山公園再整備事業	18
14 松代地域道路美装化事業	19
15 伝統環境保存事業	20
16 旧横田家住宅保存整備事業	21
17 旧文武学校保存整備事業	22
18 松代町文化財保存活用推進事業	23
19 松代地域耐震性貯水槽整備事業	24
20 旧松代駅舎保存活用事業	25
21 松代城跡東側駐車場整備事業	26
22 北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業	27
23 史跡大室古墳群保存整備事業	28
24 旧信濃川田駅保存活用事業	29
25 松代歴史文化の発信・誘客事業	30

26 川田宿PR活用事業	31
27 史跡松代城跡保存整備事業	32
28 大室古墳群アクセス道路整備事業	33
29 日本文化体験プログラム開発事業 (松代地域)	34
30 景観重要建造物修理助成事業 (松代地域)	35
31 真田信之霊屋保存修理事業	36
32 真田信重霊屋防災施設整備事業	37
33 「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・ 公開活用事業	38
34 鬼無里地域の伝統的な祭礼等PR事業	39
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存(文化財調査・指定、保存 管理(活用)計画等)について	40
2 文化財の保存整備(修理、修景、復元等) について	41
3 文化財の防災に関する取り組みについて	42
4 文化財の周辺環境の整備について	43
5 文化財の保存及び活用の普及、啓発に ついて	44
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 松代城跡で春まつり 催しや桜のライト アップ 他	45
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 善光寺仁王門前の歩行者通行量	47
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	48

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

①地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第11条に基づき、有識者等で構成される「長野市歴史的風致維持向上協議会」を計画策定後も引き続き設置し、本計画の推進・変更に関して様々な提案・意見等を得ることとする。

②歴史的風致の維持及び向上を目的とした庁内全体の連携体制を構築するために、関係各課の担当者によって構成される「歴史まちづくり推進会議」を適宜開催し、情報共有や問題点の抽出等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

①「長野市歴史的風致維持向上協議会」を2回開催し、計画事業の進行管理・評価及び計画変更案などについて協議し、計画内容、実施内容に対して幅広く意見をいただいた。

②計画事業の関係部局を対象に「歴史まちづくり推進会議」を2回開催した。会議において各事業の進捗状況の確認及び事業実施に向けて解消すべき課題を共有し、庁内全体の連携体制を強化することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

①長野市歴史的風致維持向上協議会の開催

第1回 令和元年7月26日(金)
 議題 (1) 令和元年度の歴史的風致維持向上計画事業について
 (2) 計画の進行管理・評価の実施について
 (3) 歴史的風致活用国際観光支援事業について



第1回長野市歴史的風致維持向上協議会(R1.7.26)

第2回 令和2年2月18日(火)
 議題 (1) 計画の進捗評価について
 (2) 計画の中間評価について
 (3) 計画の変更について
 (4) 歴史的風致活用国際観光支援事業について
 (5) その他

②歴史まちづくり推進会議(庁内会議)の開催

第1回 令和元年7月5日(金)
 議題 (1) 計画について
 (2) 今年度の事業計画について
 (3) 中間評価について
 (4) 計画に係る国の支援事業について
 (5) 第1回協議会の開催について



第1回 歴史まちづくり推進会議(R1.7.5)

第2回 令和2年1月22日(水)
 議題 (1) 計画の進捗評価について
 (2) 計画の中間評価について
 (3) 計画の変更について
 (4) 歴史的風致活用国際観光支援事業について
 (5) その他

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
長野市景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

＜重点区域＞
 ○善光寺周辺
 重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上のために、景観計画と連携しながら、景観計画上の重点地区に設定するなど、地域の特性に応じたよりきめの細かい景観の誘導を検討していく。
 ○戸隠
 本計画において、戸隠五社や中社・宝光社の宿坊を中心とした独特の集落を含む一帯が重点区域に設定されたことから、今後は、この重点区域内を対象に、より詳細な景観の誘導を行うための検討を行っていく。
 ○松代
 重点区域内の特徴的なまちなみを活かすためにも、地域の特性に応じた景観形成基準の設定等を検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画担当部局との連携協議を実施した。
 平成19年に策定した「長野市景観計画」(H30.10改定)に基づき、対象となる規模の新築・増築・改築等について届出義務を課し、高さや彩色等について誘導している。
 重点区域内における景観計画に基づく行為の届出件数 令和元年度実績:7件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

景観計画担当部局と連携協議を実施
 第1回 令和元年12月18日(水)
 協議内容 (1) 長野市景観計画との連携に関するこれまでの経緯について
 (2) 計画に記載されている課題と方針について



景観計画担当部局と連携協議
 第1回(R1.12.18)

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
長野市屋外広告物条例との連携		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

〈重点区域〉
 ○善光寺周辺
 長野市屋外広告物条例では、歴史的な景観を有する地区等で、よりきめ細やかな景観の規制誘導を図るために、特別地区制度を設けている。今後、重点区域内においては、景観計画と連携しながら、よりきめの細かい地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。
 ○戸隠
 広範囲にわたって妙高戸隠連山国立公園戸隠地域戸隠管理計画区に指定され、屋外広告物の掲出についても一定の規制が設けられているが、宝光社地区の一部には、国立公園による規制と屋外広告物条例による規制のどちらにもかかっていない部分があり、善光寺門前の規制とともに、よりきめの細かい規制地区の導入について検討していく。
 ○松代
 重点区域内については、善光寺周辺と同様に、景観計画と連携しながら、特別規制地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

屋外広告物担当部局との連携協議を実施し、歴まち計画と良好な景観形成に関する施策との連携における課題と方針、各地区での取り組み等を共有した。
 また、平成18年改正施行の「長野市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物を設置する際に、設置地区の規制区分及び屋外広告物の表示面積に応じて申請義務を課し、誘導している。
 屋外広告物条例に基づく許可件数 令和元年度実績:993件(市全域)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

屋外広告物担当部局と連携協議を実施
 第1回 令和元年12月18日(水)
 協議内容 (1) 長野市屋外広告物条例との連携に関するこれまでの経緯について
 (2) 計画に記載されている課題と方針について



屋外広告物担当部局と連携協議
 第1回(R1.12.18)

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
長野市伝統環境保存条例との連携		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 松代城下町の歴史的かつ文化的な遺産としての伝統環境を保存し、次世代の市民に継承することを目的として、昭和58年(1983)3月に「長野市伝統環境保存条例」が制定されている。条例では、松代町四町(表柴町、代官町、馬場町、竹山町)を伝統環境保存区域として指定し、区域内の保存に関する保存計画を策定している。保存区域内で建築物(主屋、土蔵、門、塀など)、庭園その他の工作物の新築、増改築などを行う場合に、市へ届け出ることが必要であり、これにより、城下町の良好な景観形成を図っている。伝統環境保存区域の全域が本計画の重点区域内に含まれることから、引き続き条例に基づいて伝統環境の保存に努めていくとともに、都市計画や景観計画と連携しながら、周囲に広がる歴史的景観との調和についても検討し、さらなる歴史的風致の維持向上を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

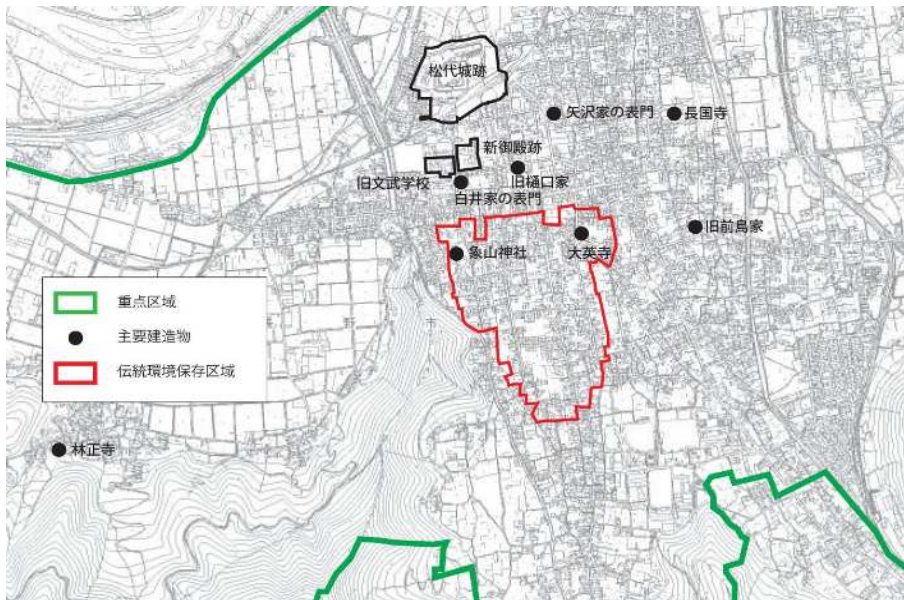
届出への審査指導や伝統環境の保全に寄与する建築物・工作物等保全へ補助することで、城下町の良好な景観形成と保全が図られた。補助制度を活用して歴史的まちなみに寄与する建物等を保全維持している所有者は、地元団体の松代地区中心市街地活性化協議会の「街なみ景観賞」として表彰されるなど、まちなみ保存に対する地域住民の意識向上にもつながっている。
 ○令和元年度実績
 届出件数:13件(新築10件、解体2件、水路改修1件)
 補助件数:1件(門復元1件)(評価軸③-15)

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

伝統環境保存区域:約29ha



評価軸②-4

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
長野市伝統的建造物群保存地区保存条例との連携		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

長野市内の伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存するため、平成28年4月に「長野市伝統的建造物群保存地区保存条例」を制定した。
 さらに、平成28年8月には条例に基づき、戸隠中社・宝光社地区の一部を長野市戸隠伝統的建造物群保存地区に決定し、同保存地区の保存に関する計画(保存計画)を策定した。保存計画では、伝統的建造物である宿坊や農家の主屋等の建築物や石垣等の工作物と共に、生垣や庭園、水路等を環境物件として特定し、保存のために行う措置を具体的に示している。
 保存地区内で建造物の新築や増改築など、現状変更を行う場合には、事前に教育委員会の許可が必要であり、これにより、戸隠神社門前の良好な景観形成、歴史的風致の維持向上を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

現状変更に対して事前に内容を確認し、必要に応じて協議を行うことで、戸隠神社門前の良好な景観形成が図られた。また、保存地区内における建造物を保存するため、所有者が行う修理費に対し補助することで、保存地区内の良好な景観形成が図られた。
 ○令和元年度実績
 許可申請件数:13件
 補助件数:4件(主屋2件、石垣1件、庭園1件)(評価軸③-8)

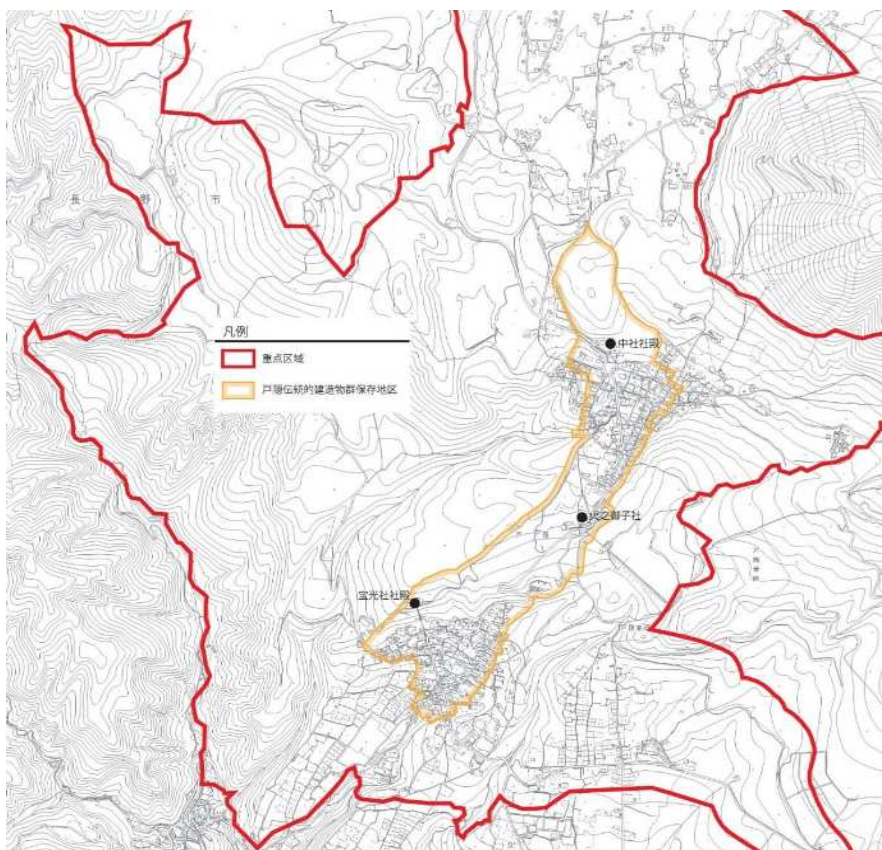
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

戸隠伝統的建造物群保存地区:約73.3ha



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
無形文化財支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和4年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	無形文化財あるいは無形民俗文化財の指定等を受けている伝統的な祭礼を保存・継承するためには、無形文化財の保持者または保持団体が、地域の若者・子ども達などに伝統的な祭礼に触れる場を積極的に提供する必要があるため、文化財の記録作成、伝承者養成、その他保存・公開に必要な経費について、支援事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財伝承者の養成、若者・子ども達などに伝統的な祭礼に触れる場の積極的な提供、公開活動に対する支援等を行うため、無形文化財及び無形民俗文化財の保持者または保持団体に対し、活動経費の一部を助成した。 ○令和元年度実績:無形文化財補助金 3件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
令和元年度 支援先の概要 (善光寺・戸隠地区)			
① 宣澄(せんちょう)踊り保存会 戸隠神社宣澄社および宣澄生誕地での宣澄踊りを奉納。			
		踊り奉納の様子	
(松代・若穂川田地区)			
① 箏曲(そうきょく)八橋流保存会 地元小学生を対象とする育成活動が行われ、保存継承を推進。			
		箏曲演奏の様子	
② 大門踊(おおもんおどり)保存会 地元小学生を対象とする育成活動、一般公開を実施。			
		松代城前における踊り披露の様子	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史的資源活用コーディネーター派遣事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 住民主体のまちづくりを支援するため、歴史的町並みを活かした良好な町並み形成を目指す住民組織等に対して、外部の専門家や有識者を派遣する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・川田宿の歴史を学ぶことで、歴史的風致の維持及び向上への関心や気運を高めるため、若穂川田地区において専門家を派遣し、講演会を行った。
 ・まちづくりを展開していく上で、県内各地の歴史まちづくりの事例を参考とするため、松代地区において専門家を派遣し、講演会を行った。
 ・鬼無里地区において、歴史的な建造物の分布状況等を把握し、今後の地元住民によるまちづくり活動の参考とするため、専門家を派遣し、調査を行った。
 ○令和元年度実績:コーディネーター派遣人数 3人

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



鬼無里地区において歴史的な建造物を調査する様子(R1.12.18)



若穂川田地区における講演会(R2.2.23)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
伝統芸能継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 祖先の優れた文化活動の所産であり、長い年月の間に大切に守られてきた郷土の伝統芸能を保存・継承するため、その技術を後世に継承する団体に対し、用具の補助を行う。各団体間の交流や子ども達の参加を促すイベントの開催、活動団体の情報発信などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・伝統芸能継承事業補助金(補助率2/3、上限100千円) 内示35団体
- ・ながの獅子舞フェスティバル(5月3日) 参加81団体、1,265名
- ・伝統芸能こどもフェスティバル(9月22日、23日) 参加17団体、257名、来場者3,785名
- ・伝統芸能継承団体の市ホームページでの紹介 238団体

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



ながの獅子舞フェスティバル



伝統芸能こどもフェスティバル

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
空き家バンク事業			現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	空き家となっている歴史的建造物などの利活用可能な建物のうち、売却・賃貸を希望している所有者の物件を登録し、空き家情報としてホームページ等を通して広く情報提供を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
空き家バンク登録件数 : 3件(令和元年11月30日現在:松代1件、鬼無里2件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



空き家バンク制度

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
善光寺周辺地域道路美装化事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成15年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、周囲の景観に調和した舗装整備を行う。
釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り、御幸坂通り、長野北96号線、長野北236号線

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

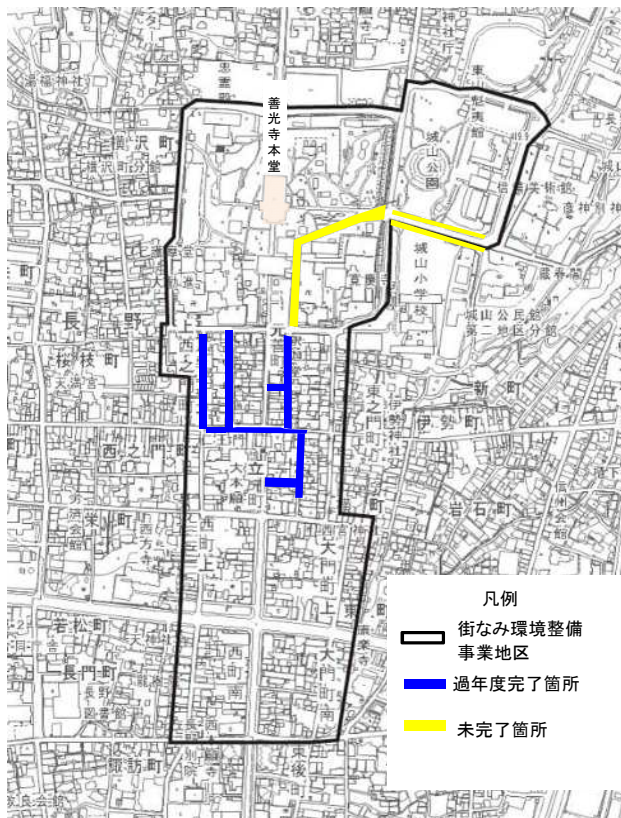
善光寺周辺地域における良好な景観形成を推進するため、御幸坂通りの道路美装化実施に向け、善光寺事務局との協議を3回実施した。

※道路美装化総延長(計画期間累計) 実施済みL=724m/計画延長L=1,084m(進捗率66.8%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



道路美装化位置図



関係者との協議(R1.12.2)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
善光寺周辺地域電線類地中化事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、電線類を地中化し、道路からの眺望景観の向上を図る。
釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り、御幸坂通り、長野北122号線

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

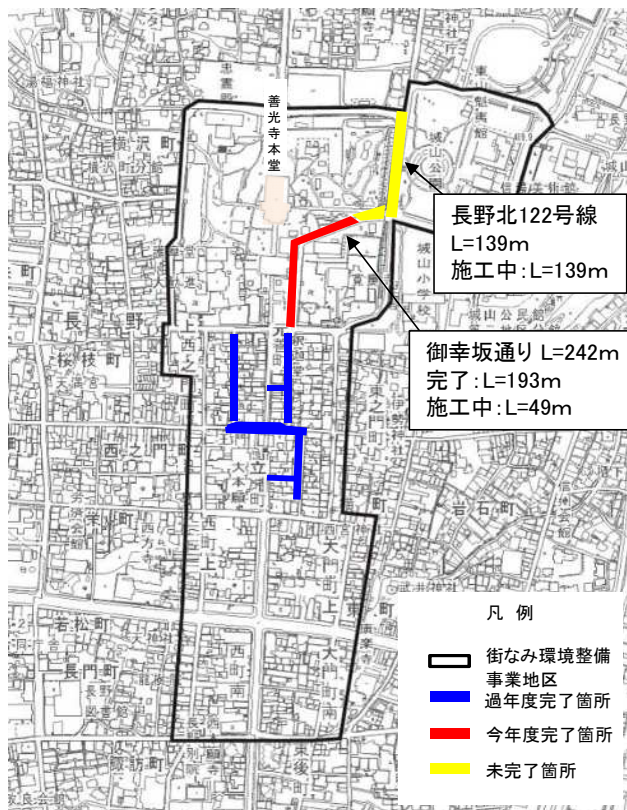
長野北98号線(御幸坂通り)の電線類地中化工事が一部完了した。また、長野北122号線の整備計画書を作成し工事に着手した。

○令和元年実績
・長野北98号線(御幸坂通り) 完了:L=193m、施工中:L=49m
・長野北122号線 施工中:L=139m
※電線類地中化総延長(計画期間累計) 実施済みL=751m/計画延長L=939m(進捗率80.0%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



電線類地中化位置図

御幸坂通り(長野北98号線)電線類地中化工事施工状況



管路布設状況



特殊部設置状況

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
善光寺表参道地域交流拠点整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 善光寺表参道に面し、長野冬季オリンピック表彰式会場であったセントラルスクウェアの場所に、地元住民や来訪者のための地域交流拠点として、緑豊かな公園や表参道の歴史等の情報発信ができるスペースを整備する。また、観光バスの駐車できる駐車場を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺表参道と一体となったイベント空間の創出と緑と憩いの空間の提供に向け、まちなか広場の整備工事を実施した。
 ○令和元年度実績：広場整備工事、ステージ建設工事、水景施設工事 ※事業完了

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



広場・ステージ整備状況



メモリアルパーク改修状況



トイレ・情報発信スペース



博物館資料等の展示

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
戸隠地域建造物修理修景助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和4年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 長野市戸隠伝統的建造物群保存地区を主とする中社・宝光社地区において、宿坊や民家等の所有者が、保存計画に定められた基準に基づき建造物等の修理及び修景を行う場合、または、歴史的建造物の特性を活かした街づくり協定を締結した上で建造物の修景を行う場合に、経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

長野市戸隠伝統的建造物群保存地区において歴史的町並みを構成する建造物の修理・修景事業に対して費用の助成を行った。
 事業に際しては、文化庁及び長野市伝統的建造物群保存地区保存審議会の指導・助言を受け、実施した。
 ○令和元年度実績：修理3件、復旧1件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



修理前



修理後

神原家(旧観法院)主屋



修理前



修理後

水野家(旧常楽院)石垣

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設・歩道整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 戸隠中社・宝光社地区門前の歴史的まちなみが広がる一部の路線について、道路美装化、電柱電線類移設、歩道整備等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

戸隠中社及び宝光社門前に広がる宿坊や民家の歴史的建造物の眺望景観を向上させるとともに、歴史的建造物と道路が一体となった景観形成を図るため、周囲の歴史的建造物に調和した道路の美装化を実施した。

○令和元年度実績
 市道戸隠北58号線(宝光社横大門通り)美装化
 ※道路美装化総延長(計画期間累計) 実施済みL=114m/計画延長L=980m(進捗率11.6%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



着工前



竣工

宝光社横大門通りの美装化(宝光社地区)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弥栄神社の御祭礼で曳き回される屋台の巡行を支援するため、各町で保管している屋台や祭礼用具の組立及び解体、補修等に対して補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

祇園祭における屋台巡行の毎年実施が復活し、今年度で8年目を迎えた。祭りに参加する屋台を一定数確保し、祭礼の定着と発展を図るため、屋台の組み立て、解体及び修繕の費用の一部を助成した。

○令和元年度実績
祭礼屋台事業補助金:10件(屋台6台の組み立て及び解体費用の一部を助成、4台の屋台補修費用の一部を助成)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



ながの祇園祭における屋台巡行・勢獅子の様子(R1.7.13)

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
戸隠茅場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和4年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	戸隠中社・宝光社地区の歴史的町並みを構成する茅葺き屋根の建物を、今後も適切に維持保全していくため、中社地区内にある戸隠スキー場中社ゲレンデを茅場として整備する。なお、このゲレンデの一面には、すでに茅材に適した大茅が自生していることから、毎年、定期的に茅刈りを行うことにより、良質な茅場として整備できることが十分に見込める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
戸隠スキー場中社ゲレンデにおいて、戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会による茅刈りが11月上旬に行われた。地元住民が参加し、伝統技術の継承が図られ、戸隠在住の茅葺き職人により地区内の茅葺き屋根に使用する茅材を確保した。			
○令和元年度実績: 延べ参加者(地元住民) 10人 また、大学の研究グループ(結と家研究会)により「茅」をテーマに公開講座を行い、地区住民等も参加することで、茅刈りから「によう」立て、意見交換会等を通して、茅に対する理解が深まった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>戸隠スキー場中社ゲレンデ茅刈り 茅刈り週間 R1.11月上旬: 延べ参加者10人、約200束を刈り取り</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">大学の研究グループ(結と家研究会)による「茅」をテーマにした公開講座</p>			

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
戸隠伝統的建造物群保存地区防災計画策定調査事業		現在の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和元年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 戸隠伝統的建造物群保存地区内において、住民の生命及び財産を災害から保護し、歴史的な町並みを活かしたまちづくりを推進するため、保存地区に相応しい防災計画を策定するための調査を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度から引き続いて保存地区内の消防設備の現状調査を実施するとともに、残雪期の雪害調査等を実施した。また、大学等において研究開発中の消火機器や可搬小型ポンプを使用した防災ワークショップを住民参加のもとに実施した。これらの成果をもとに保存地区の防災上の課題等をまとめた防災計画策定調査報告書を作成した。
※事業完了

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



可搬小型ポンプと易操作性小口径ホースを使用した放水体験の様子



研究開発中の消火機器を用いた放水体験(実証実験)の様子

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
城山公園再整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 善光寺に隣接する立地条件を活かし、一体的な歴史的景観を形成するとともに、バリアフリーにも配慮して善光寺周辺地域の回遊性の向上に寄与するよう、魅力ある公園として再整備し、美術館とともに「信州の魅力を発信する文化・観光の一大拠点」を創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺周辺地域の回遊性を向上させるため、善光寺周辺の歴史的景観に配慮し、県立信濃美術館と城山公園の一体的な整備を進めた。

- 令和元年度実績
- ・撤去・造成 令和元年4月～令和元年8月(完了)
 - ・交差点改良 令和元年11月～令和2年8月(実施中)
 - ・広場整備 令和元年12月～令和3年3月(実施中)
 - ・修景施設整備 令和2年2月～令和3年3月(契約準備中)
 - ・電気整備 令和2年2月～令和3年3月(契約準備中)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

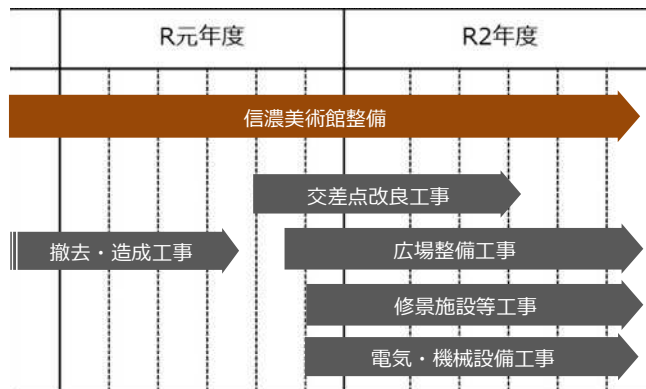
状況を示す写真や資料等



城山公園の整備状況
(撤去・造成工事 R1.5)



信濃美術館の整備状況
(長野県HPより R1.11)



■スケジュール

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
松代地域道路美装化事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成16年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 旧松代藩の城下町である松代の中心市街地は、松代城跡、新御殿跡、旧文武学校、旧樋口家住宅など、多くの文化財が集積するとともに、善光寺御開帳における回向柱の奉納や天王祭における神輿巡行の舞台でもある。本事業では、城下町にふさわしい歴史的景観とするために、周辺の歴史的建造物に調和した歩車道の美装化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

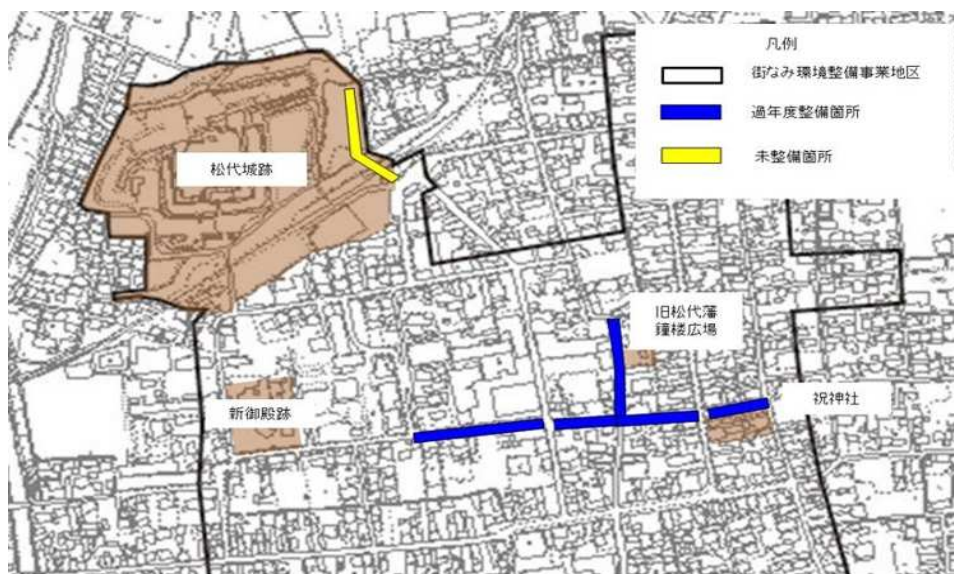
松代城跡第二期整備計画と周辺環境整備について関係課と協議した。

※道路美装化工事総延長(計画期間累計) 実施済みL=473m/計画延長L=600m(進捗率78.8%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



道路美装化位置図

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
伝統環境保存事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和59年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 江戸時代の良好な武家屋敷地としての地割りや建物が残るとともに、松代特有の水路である庭園や泉水がとりわけ多く残っている、表柴町、代官町、馬場町、竹山町の四町の伝統環境を保存し、後世に受け継ぐため、伝統環境保存区域内で行われる建造物や庭園等の修理・修景に対して指導・助成等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観形成に寄与している物件の修理・修景事業に対する助成を行った。
 修理にあたっては長野市伝統環境保存審議会の助言・指導を受け、実施した。
 ○令和元年度実績:修理・修景助成2件/当初計画2件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



審議委員による現地視察(福田家表門)



審議委員による現地視察(長谷川家主屋)



審議委員による審議

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
旧横田家住宅保存整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 江戸時代の中級武家屋敷である旧横田家住宅(主屋、表門、隠居屋、土蔵2棟)は、前回の解体修理工事から20年以上経過し、茅葺屋根や土壁、木部等に劣化が生じていることから、保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代城下町における歴史的景観の保全を図るため、重要文化財(建造物)旧横田家の耐震補強を含む保存修理工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧横田家主屋(修理前状況)



主屋茅葺屋根の葺き替え状況



耐力壁設置による構造補強



市民向けの現場見学会の様子

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
旧文武学校保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、歴史的風致活用国際観光支援事業、文化財多言語解説整備事業

計画に記載している内容
 松代藩の藩校として、安政2年(1855)に開校した史跡旧文武学校は、松代城下町の歴史を伝える重要拠点であるとともに、善光寺御開帳では、回向柱が安置される場所でもある。経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代城下町における歴史的風致の保全を図るため、史跡内の建造物について耐震診断に基づく保存整備工事を実施した。また藩校体験プログラムに資する展示整備事業を実施した。

令和元年度実績

- ・旧文武学校弓術所外保存修理工事の実施:弓術所、柔術所、剣術所、東序、西序等
- ・旧文武学校再現展示整備事業の実施
- ・旧文武学校バーチャル展示整備事業の実施

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

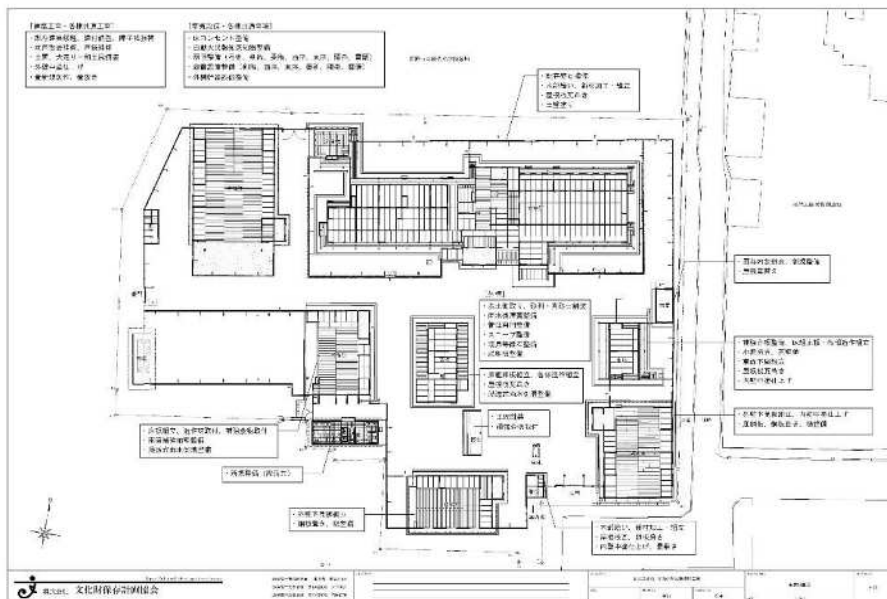
状況を示す写真や資料等



旧文武学校 鳥瞰図



旧文武学校史跡内 工事状況



文武学校 事業概要図

評価軸③-18 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
松代町文化財保存活用推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	多くの文化財施設が集積する松代地区において、文化財施設を活用したまちづくりを促進するため、文化財ボランティアの活動や市民ワークショップの開催等を推進する。また、松代地区における文化財施設の中核施設である真田宝物館の老朽化にともなう施設改修に向けて、松代地区全体の文化財を活用するための調査研究を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財ボランティアの活動は、年間延べ約5千人の活動を実施し、4万人を超える方にガイドを行った。また、「日本文化体験プログラム開発事業」の成果を活かすことで、外国人来訪者へのガイドなど、積極的な活動につながった。 また、松代文化財ボランティアの会が、指定建造物などハード整備とそれを活かすソフト事業を結びつける活動を引き続き行い、2019年国土交通省「手づくり郷土賞 大賞部門・グランプリ」を受賞した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
国土交通省 手づくり郷土賞 大賞部門 2019グランプリ 松代文化財ボランティアの会・長野市			

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
松代地域耐震性貯水槽整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和元年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 旧松代駅周辺と玉依比売命神社(国登録有形文化財)周辺の防災対策として、耐震性貯水槽(防火水槽)を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代町東条善徳寺敷地駐車場に耐震性貯水槽(防火水槽)を整備し、玉依比売命神社(国登録有形文化財)周辺の防災体制を強化した。
 ○令和元年度実績:耐震性貯水槽(防火水槽)40tを1基設置 ※事業完了

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない
 旧長野電鉄屋代線廃線により鉄路が撤去されたことで地理的な分断が無くなったことから、旧松代駅周辺への設置の必要性が無くなった。このため、玉依比売命神社(国登録有形文化財)周辺への設置をもって本事業を終了とする。

状況を示す写真や資料等



耐震性貯水槽設置工事の状況(R1.12.9)



竣工後(R2.3.30)

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
旧松代駅舎保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線松代駅の駅舎を、来訪者に対する案内拠点として活用するため、内部改修と外観修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡松代城跡に隣接しているため、松代城跡保存整備及び周辺環境調整会議を3回開催した。また、地元NPO法人により観光情報コーナーを設けるなど、来訪者や市民への情報発信の場として活用した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



地元NPO法人による観光情報コーナー(旧松代駅舎内部を活用)

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
松代城跡東側駐車場整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松代中心市街地への自動車の流入を防ぐため、旧長野電鉄屋代線の敷地のうち、史跡松代城跡東側の一部にアクセス駐車場を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

暫定的に観光用駐車場として活用し、中心市街地への自動車流入を抑制した。また、地元有志によりイベント会場として活用された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



観光用駐車場としての活用状況



地元有志の主催によるイベントにおける活用状況(R1.9.19)

評価軸③-22 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和4年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	北国街道松代道周辺の文化財や歴史的建造物等をゆったりと周遊できる道を整備するため、平成24年(2012)3月に廃線となった旧長野電鉄屋代線の線路敷を活用し、沿線に点在する歴史的遺産を巡る自転車道ないし遊歩道としての整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度整備区間につき、自転車・遊歩道建設工事の着手前地元説明会を実施し、建設工事に着手した。 ○令和元年度実績:自転車・遊歩道建設工事(L=1,000m)へ着手			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
整備箇所(施工前)		工事説明会(R1.9.25)	

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
史跡大室古墳群保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 平成10年(1998)から平成25年(2013)にかけて実施しているエントランスゾーン・施設整備ゾーンに引き続き、積石塚古墳・合掌形石室が密集して分布する遺構復元整備ゾーン(面積:約42,000㎡、古墳数60基)の古墳を修理して保存・継承するとともに、古墳周辺の自然環境を保全し、また、園路や説明板等の便益設備を整えて見学者の利便性を高めるなど、学校教育や生涯学習の場として利活用できるように整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

整備対象古墳2基(154・176号墳)の発掘調査、見学者用園路に付設される見学広場予定地の試掘調査、古墳2基(165・186号墳)の保存修理実施設計を進め、大室古墳群の文化財的価値の向上を図った。また、整備工事に不可欠となる整備作業道の仕上げ(舗装)工事を行い、ゾーン内への必要資材等の搬入出ができるようになった。この他、草刈や園路清掃・墳丘清掃などを行って、遠足や社会見学などの学校教育や生涯学習の場として積極的に公開を図った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



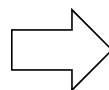
小学校の遠足・社会見学(市内小学校6年生 168号墳)



古墳の清掃作業(197号墳)



整備作業道 舗装工事の様子



整備作業道 しゅん工の様子

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
旧信濃川田駅保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 川田宿には、地域の歴史や文化を伝えるための施設が不足しているとともに、大通りから離れたところに歴史的まちなみが形成されているため、歴史的まちなみへの案内が不足している。本事業は、川田における歴史的建造物の一つである大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線信濃川田駅の駅舎を、川田宿の歴史を伝える資料館及び来訪者に対する案内拠点として利活用するため、内部改修と外観修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧駅舎の活用について、地元との協議を1回行った。
また、地元住民によりミニギャラリーコーナーの設置や、駅舎前の花壇の整備を行うなど利活用し、情報発信を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧信濃川田駅舎内の活用事例 地元住民による「ミニギャラリーコーナーの設置」



地元住民による駅舎前の花壇の整備(R1.7.3)

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
松代歴史文化の発信・誘客事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松代の歴史文化を発信し誘客に繋げようとして「NPO 法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」が実施している、まち歩き推進事業、交流ネットワーク事業、広報・出版・情報発信事業、まち歩きセンター運営事業に対して助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代地区全体を歴史的遺産と捉え、地域資源の掘り起こし、磨き上げ及び情報発信を行っている「NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」の活動補助を行った。
 同法人は、散策ツール作成、まち歩きガイド養成、まち歩きセンター運営及びまちづくりシンポジウムなどを実施し、これらの活動がまち歩き観光の促進、まちのPRに寄与した。
 ○令和元年度活動実績
 ・まち歩きツアー 12回開催(参加者合計 160名)
 ・視察受入 28回開催(参加者合計 809名)
 ・松代学講座 6回開催(参加者合計 256名)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



まち歩きガイドの実施(R2.1.16)

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目			
川田宿PR活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和4年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	川田宿の歴史的町並みや伝統文化を川田宿を訪れる観光客に対して広くPRするため、川田宿ガイドの会が主体となり、案内ガイドの実施や町歩きガイドマップの作成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
川田宿見学者への案内ガイド等を実施し、街道宿場としての歴史を活かしたまちづくり及びPRに取り組んだ。 ○令和元年度実績 ・月例学習会(月第2火曜日) 会の運営や新たな資料収集のほか、PR方法のなどについて検討した。 ・ガイド案内 3回(5/8・6/28 若穂中学2年生 10/28 こどもわくわく体験) 見学者 約80人に対応した。 ・現地研修会の実施 ①5/11東光寺蔵の旧学林寺本尊、灰釉四耳壺の見学 7名 ②12/1 須坂市・福島宿の研修見学 8名 ・高札板説明書の作成、若穂公民館報への寄稿～「川田宿の沿革」～、地区の盆踊り、お茶の間サロンなどで「川田宿音頭」を活用した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



ガイド案内 川田地公連主催 長野市こどもわくわく体験(R110.28 参加者45名)



現地研修会 須坂市・福島宿 (R1.12.1 参加者8名)

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
史跡松代城跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和4年度		
支援事業名	市単独事業、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		
計画に記載している内容	史跡松代城跡について、松代地区の中核拠点として利活用を図るため、史跡の追加指定・公有地化を進め、保存整備を実施するもの		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
松代地区の歴史的風致を構成する史跡松代城跡について、地元・関係機関との協議や専門家会議を行い、事業を進めた。また、発掘調査・史料調査を進め、城郭の価値や魅力に関する情報収集に努めた。 ○令和元年度実績 ・本丸戌亥櫓台階段・柵等の整備工事の完了 ・発掘調査・史料調査の実施、整備専門家会議・松代地区との調整会議等を開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



整備工事の現地指導(R1.6.11)



既存階段・柵等撤去状況(R1.10.25)



戌亥櫓台階段・柵等整備 着手(R1.5.8)



戌亥櫓台階段・柵等整備 竣工(R2.1.17)

評価軸③-28
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
大室古墳群アクセス道路整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
大室古墳群の保存活動は、史跡整備されたエントランスゾーンやガイダンス施設「大室古墳館」を拠点に、周辺の歴史文化資産を含めた保存を図っていく局面を迎えている。こうした新たな保存活動及び利活用の促進を図る上で、国道403号線から国史跡大室古墳群までのアクセス道路整備により誰もが訪れやすいようにするとともに、周辺の歴史文化資産を活かす道路として整備を進める。

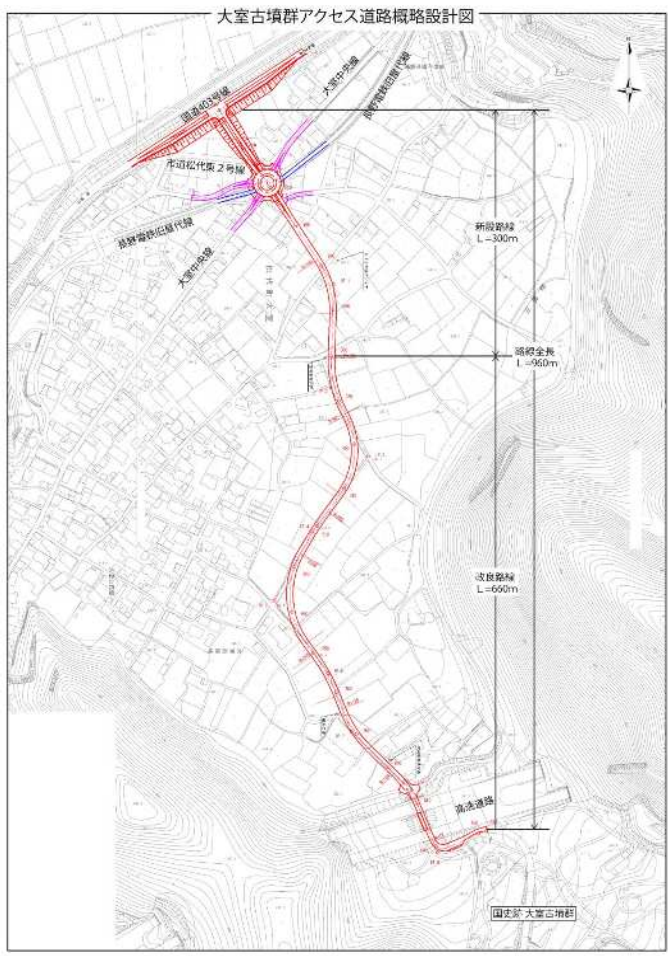
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

概略設計による基本ルート案をもとに、大室古墳群アクセス道路整備対策委員会(地元)と整備に向けた協議を行うとともに、地権者等との意見交換により部分的なルート変更を検討した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



大室古墳群アクセス道路概略設計図

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
日本文化体験プログラム開発事業(松代地域)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和元年度

支援事業名 歴史的風致活用国際観光支援事業

計画に記載している内容 松代地区では外国人観光客数が増加傾向にあり、「旧真田邸」等の文化施設を活用し、実施しているお箏体験や投扇興などの日本文化の体験プログラムの磨き上げや甲冑体験等の新規メニューの開発、実施主体である市民ガイドの育成を行い、文化の継承、外国人観光客の満足度の向上、滞在時間の長期化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度に引き続いて、体験用具の製作、お箏や古武道の体験に係る翻訳や研修動画の編集仕上げを行った。また、令和2年度以降も引き続き自主事業として外国人の体験事業を継続実施できるように事業の総括を行った。
※事業完了

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等



八橋流箏の体験



組紐の体験



甲冑着用の体験

評価軸③-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
景観重要建造物修理助成事業(松代地域)		現在の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 景観重要建造物に指定された八田邸について、建造物の外観の修繕及び外観の修繕に伴う構造部の修繕に要する経費の一部について助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

八田邸の瓦葺屋根の部分修理費の一部を助成し、松代地区における歴史的建造物の保全を図った。
 ○令和元年度実績: 景観重要建造物修理助成 実績1件/当初計画1件 ※事業完了

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



棟瓦施工状況



着工前



竣工

景観重要建造物 八田邸(松代地区)

評価軸③-31

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
真田信之霊屋保存修理事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 老朽化が著しい重要文化財真田信之霊屋宝殿及び表門について、保存修理工事に要する経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存修理工事を令和2年度より着手するため、所有者及び関係機関等と協議調整を進めた。令和元年台風第19号の影響により、真田信之霊屋宝殿の屋根及び漆塗木部の劣化が進行した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



真田信之霊屋(客殿外観)



屋根破損状況(宝殿/南西隅)



高欄漆塗破損状況(客殿/南東隅)



向拝柱漆塗破損状況(宝殿)

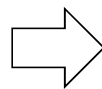
評価軸③-32
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
真田信重霊屋防災施設整備事業			■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	令和元年度		
支援事業名	国宝重要文化財等防災施設整備費補助金		
計画に記載している内容	重要文化財真田信重霊屋の老朽化した防災施設を更新するため、消火用ポンプ設備の設置等に要する経費の一部について補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重要文化財真田信重霊屋の消火設備(昭和57年度設置)について、ポンプ設備、遠隔操作盤等の更新工事を実施した。 ※事業完了			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



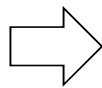
ポンプ設備の更新前



ポンプ設備の更新後



自動盤の更新前



自動盤の更新後

評価軸③-33

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 歴史的風致活用国際観光支援事業

計画に記載している内容 市有形文化財(工芸品)である「彫工北村喜代松」制作の神楽・屋台を保存するとともに、その木地を生かした「一木彫り」による透かし彫りの龍や唐獅子、牡丹など優れた技術の情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

5月開催の鬼無里神社祭礼において屋台巡行が行われ、北村喜代松の彫刻を多くの参加者に見てもらった。また、鬼無里ふるさと資料館において、企画展「鬼無里の木食仏」を行うなど、屋台を残してきた背景である鬼無里地区の歴史について、情報発信を行うとともに、当資料館のホームページの内容を見直し、日本語・英語・中国語・韓国語に多言語化することで、多くの来訪者に向けた情報発信を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



鬼無里ふるさと資料館ロビー展示
鬼無里の木食仏
 ～サンキョさんの祈り～
 令和元年
 5月1日(水)～11月24日(日)
 鬼無里ふるさと資料館
 9:00～16:30 (入館は16:00まで)
 月曜日休館(月曜祝日は翌日)
 5月・8月・10月は無休

企画展「鬼無里の木食仏」パンフレット



多言語化した鬼無里ふるさと資料館ホームページ

評価軸③-34
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
鬼無里地域の伝統的な祭礼等PR事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～令和4年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	白髭神社の祭礼、鬼無里神社の祭礼、諏訪神社の御柱祭をはじめとした、鬼無里地域に伝わる伝統的な祭礼について、パンフレット作成やインターネットを活用した情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鬼無里観光振興会により、ツイッターで鬼無里神社の祭礼、白髭神社の祭礼の開催における情報発信を行い、地元住民をはじめ多くの参加者で賑わった。また、(公財)ながの観光コンベンションビューローにより平成25年度から実施している地域の文化財等を活用した体験型ツアーが今年度も企画・実施され、市内外から多くの参加者が集まった。
○令和元年度実績:紅葉の鬼無里(奥裾花ダム・鬼無里ふるさと資料館見学等)(10月16～22日)参加者延べ53名

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	状況を示す写真や資料等



鬼無里神社 春の例大祭(R1.5.3)

時刻	場所	目的地	目的地	備考
10:00	鬼無里神社	御柱	諏訪神社	御柱祭
11:00	鬼無里神社	御柱	諏訪神社	御柱祭
12:00	鬼無里神社	御柱	諏訪神社	御柱祭
13:00	鬼無里神社	御柱	諏訪神社	御柱祭
14:00	鬼無里神社	御柱	諏訪神社	御柱祭
15:00	鬼無里神社	御柱	諏訪神社	御柱祭
16:00	鬼無里神社	御柱	諏訪神社	御柱祭
17:00	鬼無里神社	御柱	諏訪神社	御柱祭
18:00	鬼無里神社	御柱	諏訪神社	御柱祭
19:00	鬼無里神社	御柱	諏訪神社	御柱祭
20:00	鬼無里神社	御柱	諏訪神社	御柱祭

鬼無里観光振興会ツイッターによる祭礼の周知

紅葉の鬼無里体験参加型ツアーのリーフレット

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理(活用)計画等)について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財は指定・未指定に関わらず、長野市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、幅広く情報を収集し、地域固有の財産として未来に受け継いでいくための取り組みを進める必要がある。具体的には、文化財の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度等の活用を検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・登録有形文化財(建造物)の登録:「小坂家住宅主屋など全8件(長野市大字村山)」、「光林寺経蔵など全3件(長野市篠ノ井)」 ・登録記念物(名勝)の登録:「長峯氏庭園(旧河原氏庭園)(長野市松代町)」 ・歴史の道百選の選定:「戸隠道」・「北国脇往還(善光寺道)」 ・近代遺跡詳細調査(農林水産業)において、大平風穴(七二会地区)の調査を実施した。(令和元年10月8日)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



小坂家住宅主屋(令和元年12月5日告示)



長峯氏庭園(旧河原氏庭園)



戸隠道(一ノ鳥居～大久保)



大平風穴の現地調査(令和元年10月8日)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 国指定等文化財の現状変更を伴う大規模な修理や整備等を実施する場合には、文化財保護法及び関係法令を遵守し、適切な手続きをとるとともに、文化庁や長野県教育委員会との連携のもと、整備委員会を設置して、専門の有識者より指導助言を得ながら実施する。県・市指定文化財については、地方文化財保護審議会の専門委員より適宜指導助言を得ながら修理等を実施する。長野市の歴史的風致を形成する歴史的風致形成建造物に指定するものについては、保存・活用のための修理に必要な支援を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下記の指定文化財の建造物・記念物等について、文化庁等の指導の下、計画的に保存修理を実施することにより、適切な保存活用を図ることができた。
 ○指定文化財の保存整備事業 4件
 ・国指定4件: 史跡旧文武学校保存整備、史跡松代城跡保存整備、史跡大室古墳群保存整備旧、旧横田家住宅保存修理工事
 ○指定文化財の保存修理助成事業 1件
 ・国指定: 真田信重霊屋防災施設助成
 ○重要伝統的建造物群(戸隠地区)の保存修理助成事業 4件
 ○台風第19号により被害を受けた物件の修理・保存等について、現場確認を行い、今後の対応を所有者及び管理者と調整した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧文武学校の保存修理状況



松代城跡の保存修理状況



重伝建(戸隠地区)保存修理状況



台風第19号による被害状況(松代地区)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
文化財の防災に関する取り組みについて		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 定期的に文化財パトロールを実施し、所有者・管理者と消防局による防火点検や、地元消防団の放水訓練などを行い、日常的に防災意識の高揚と火災被害の軽減を図る。さらに、防犯対策として、文化財所有者への防犯意識の徹底を図る。
 文化財の耐震診断と耐震補強工事や、消火設備、避雷針設備等の防災設備設置工事等の推進を図るとともに、日常的な維持管理や所有者への注意喚起等により、美術品等の防犯対策を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財パトロールの実施
 - ・国・県指定等文化財:年1回(パトロール員3名/96件)
 - ・市指定文化財:年1回(パトロール員25名/69件)※文化財保護協会と連携
- 消防訓練の実施
 - ・善光寺・忠恩寺・蓮台寺など(文化財防火デー、令和2年1月26日)
- 所有者管理者への防災対策の注意喚起
 - ・所有者管理者研修会の開催(令和元年11月14日)
- 戸隠地区での防災ワークショップの開催(令和元年11月6日)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



所有者管理者研修会の様子



文化財パトロールの様子



防災ワークショップ(戸隠地区)の様子



文化財防火デーの様

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
文化財の周辺環境の整備について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

歴史的風致の維持及び向上を図るために実施する電線類地中化・道路美化事業ないし水路等の整備事業、文化財の管理活用を目的とする便益施設等の設置においても文化財及びその周辺の歴史的景観との調和を図る。

〈善光寺戸隠地区〉
 ・道路や河川などの公共施設については、電線類地中化や道路の美化化によって、歴史的建造物と一体となった良好な整備を行っていく。

〈松代・若穂川田地区〉
 ・電線類地中化や道路の美化化等を順次進めていく。

〈鬼無里地区〉
 ・神社や寺院、民家等には古い建造物が多く残され、これまでに大規模開発も行われていないため、文化財の周辺環境も保全されているが、なお一層の地域住民の保全意識向上を図り、環境の保全に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺周辺地区において電線類地中化と道路美化化(評価軸③-5、③-6)、戸隠地区において道路美化化(評価軸③-9)を実施し、文化財及びその周辺の歴史的景観との調和が図られた。
 また、鬼無里地区において文化財を利用した体験型ツアー(評価軸③-34)を開催し、歴史的景観に関する住民意識の向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

御幸坂通り(長野北98号線)
電線類地中化工事施工状況



管路布設状況



道路美化に関する関係者との協議



特殊部設置状況



鬼無里地区体験参加型ツアーリーフレット

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及、啓発について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の非公開部分を対象とする期間限定の特別公開や、修理工事中の現地説明会、出前講座等を実施し、分かりやすい文化財情報の発信に努める。市内の各種団体も、住民と連携して文化財めぐりや講演会等を行っており、今後もこうした取り組みを続けていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

現在工事中である旧横田家住宅(松代地区)において、子どもから大人まで70人が主屋などの茅葺屋根の工程や耐震補強の状況など、普段見られない工事現場の様子を見学した。(令和元年9月14日)
 戸隠地区の工事現場において、高校生による茅の束ね直し体験及び茅葺工事の現場見学会を実施した。(令和元年9月20日)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



旧横田家住宅見学会の様子



高校生の茅葺工事現場見学会の様子

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	令和元年度
	年月日	掲載紙等
松代城跡で春まつり 催しや桜のライトアップ	平成31年4月11日	長野市民新聞
松代旧武家屋敷の「お庭拝見」NPO開催「泉水路」など見学	令和元年5月13日	信濃毎日新聞
松代の体験観光紹介 関連事業者らパンフ配布	令和元年5月13日	長野市民新聞
松代の成り立ちを地形から知ろう 地元NPO街歩きの催し	令和元年5月20日	信濃毎日新聞
戸隠夜祭り 中社前で3本の杉ライトアップ	令和元年6月11日	長野市民新聞
松代観光情報一覧できます 長電旧駅舎に掲示板	令和元年6月11日	長野市民新聞
戸隠の杉並木の根「踏まれた影響」明らか	令和元年6月12日	信濃毎日新聞
鬼無里で”七夕婚活” フットパス楽しみながら	令和元年6月13日	長野市民新聞
城山公園再整備の素案	令和元年6月20日	長野市民新聞
藩校の授業体感しよう 長野市松代の旧文武学校	令和元年6月26日	信濃毎日新聞
善光寺仁王門実は自立構造	令和元年6月27日	信濃毎日新聞
夜の長野駅に観光案内投影	令和元年7月3日	信濃毎日新聞
松代百選 史跡や寺社マップで紹介	令和元年7月8日	長野市民新聞
信大院生ら善光寺近くの空き家活用	令和元年7月17日	信濃毎日新聞
屋台巡行にぎやかに ながの祇園祭・御祭礼	令和元年7月18日	長野市民新聞
登録有形文化財県内4か所	令和元年7月22日	信濃毎日新聞
松代ならではのアート体感 「現代美術フェス」開催	令和元年8月20日	信濃毎日新聞
松代5施設値上げ検討	令和元年8月22日	信濃毎日新聞
多彩な表現戸隠盛り上げ 伝統芸能基に音楽やパフォーマンス	令和元年9月2日	信濃毎日新聞
鬼無里でウォーク 新コース作成で散策	令和元年9月9日	長野市民新聞
松代旧横田家住宅 屋根ふき替え見学会	令和元年9月12日	長野市民新聞
鬼無里ふるさと資料館を紹介します	令和元年9月13日	広報ながの
松代の泉水路守れ 有志らが保全の組織	令和元年9月17日	長野市民新聞
歴史的町並み保存・活用へ 県内の22団体が結束	令和元年9月17日	長野市民新聞
曇り気味だけど「お月見の会」 旧松代駅舎で楽しむ	令和元年9月25日	信濃毎日新聞
思い思いに松代巡り 120人がロゲイニング	令和元年10月3日	長野市民新聞
善光寺参道イルミネーションCF資金募りさらなる輝き	令和元年10月3日	信濃毎日新聞
長野で「善光寺サミット」始まる	令和元年10月4日	信濃毎日新聞
象山らテーマに行列 松代藩十万石まつり	令和元年10月7日	長野市民新聞
松代で御城印発行へ	令和元年10月10日	長野市民新聞
地域の歴史資料救出急ぐ 台風19号で浸水被害	令和元年10月24日	信濃毎日新聞
善光寺表参道イルミ電飾や催し一部取りやめ	令和元年10月31日	長野市民新聞
「歴史の道百選に選定」 戸隠道	令和元年11月5日	長野市民新聞
安く泊まって復興支援 北信のゲストハウスやホテル	令和元年11月14日	信濃毎日新聞
「長峰氏庭園」を登録記念物に	令和元年11月16日	信濃毎日新聞
長野市教委が被災まとめ 計14か所 松代多く	令和元年11月19日	信濃毎日新聞
長野市観光客46%減 10月前年度比	令和元年12月11日	信濃毎日新聞
国交省の手づくり郷土賞大賞部門 松代がグランプリ	令和元年12月19日	長野市民新聞
善光寺仁王門の屋根改修工事	令和2年1月18日	信濃毎日新聞

ながの祇園祭の屋台巡行や善光寺表参道イルミネーション、松代現代アートフェスティバル等各地で行われた様々な催しや、登録文化財、県内の歴史まちづくりネットワークの結成、台風19号による文化財等の被害といった歴史文化に関する社会的動向の報道がなされた結果、歴史まちづくりの取り組みが市民に周知され、歴史的風致の向上につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



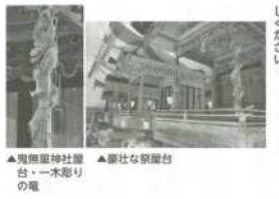
長野市民新聞 R1.11.5 記事
※転載許可



長野市民新聞 R1.9.14 記事
※転載許可



長野市民新聞 R1.7.18 記事
※転載許可



鬼無里ふるさと資料館では、鬼無里に伝わる、4体の祭壇台と4体の神楽を常設展示しています。これらは、江戸時代末期の彫工・北村清次が手がけ、精巧な木彫り彫刻が印象的です。

鬼無里神社の正面の柱には、「本彫」の技法で彫られた彫りが残っています。3基の祭壇台の裏面の獅子の彫りや神楽にも、彫る人を任する数々の技法があり、見応え十分。一見の価値ありです。

ぜひ鬼無里ふるさと資料館へお越しください。

鬼無里ふるさと資料館
 9時～16時30分(入館は16時まで)
 入館料(一般)200円、高校生100円、小・中学生50円、9月16日・23日、11月3日は無料、土曜日は小・中学生無料
 ◆休館日/月曜日、祝日、祝日の翌日、土・日曜日と重なる場合は開館、12月20日、翌年3月20日、10月1日は休館です。

鬼無里ふるさと資料館
 〒377-0270
 坂共通25-3270

広報ながの R1.9.1 記事



長野市民新聞 R1.7.3 記事
※転載許可

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度

令和元年度

項目

善光寺仁王門前の歩行者通行量

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成29年度及び今年度の歩行者通行量の減少は、それぞれ雨天と、令和元年度台風第19号による災害が影響していると考えられる。特に今年度は、例年と外的要素が大きく異なる状況下での調査となったため、各種事業との関連性を特定することが困難となっている。善光寺周辺地域道路美装化事業(評価軸③-5)、善光寺周辺地域電線類地中化事業(評価軸③-6)、善光寺表参道地域交流拠点整備事業(評価軸③-7)、城山公園再整備事業(評価軸③-13)及び今後実施する各種事業が歩行者通行量の増減に与える影響をより長期的な視点で捉える必要がある。

○平成元年度実績

善光寺仁王門前の歩行者通行量調査(毎年10月第3日曜日実施) 歩行者人数:23,839人

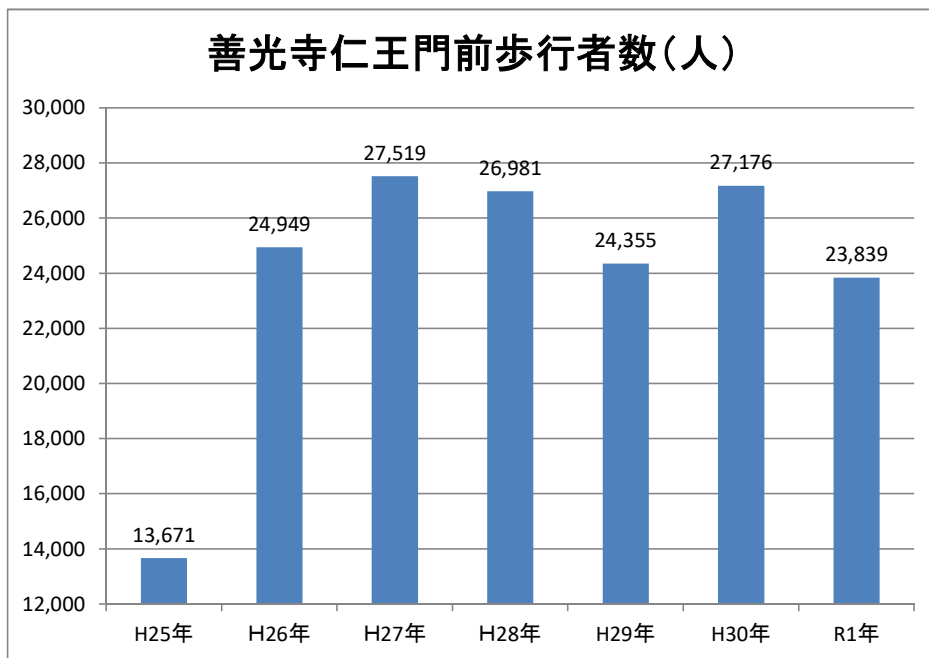
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり

計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



善光寺仁王門前歩行者通行量調査(H25~R1)

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:長野市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時:令和2年2月18日(火)午後2時30分から午後5時まで	
(コメントの概要)	
<ol style="list-style-type: none">1 鬼無里地区で開催した歴史的資源活用コーディネーター派遣事業では町屋を調査してもらい、調査結果を発表し、地元で喜ばれた。今後の参考としたい。2 旧文武学校の整備事業については内部を観覧したが、車椅子対応、トイレ新築、体験型コーナーの設営等、大変使いやすい整備となっている。	
(今後の対応方針)	
地域住民等の意向を反映して事業を進めていく。	